

2024年 ココロ松山 自己評価表

事業所向け【児童発達支援】

		はい	いいえ	計		
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	5	100.0%	0.0%
2	職員の配置数は適切であるか	5	0	5	100.0%	0.0%
3	環境になっているか。また障害の特使に応じ、事業所の設備等はバリアフリー	5	0	5	100.0%	0.0%
4	、心地よく過ごせる環境になっているかまた子ども達の活動に合わせた空間	5	0	5	100.0%	0.0%
5	を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画し	5	0	5	100.0%	0.0%
6	用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務	5	0	5	100.0%	0.0%
7	所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善	5	0	5	100.0%	0.0%
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	5	40.0%	60.0%
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	5	80.0%	20.0%
10	い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援	4	0	4	100.0%	0.0%
11	適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用して	5	0	5	100.0%	0.0%
12	援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容か	4	0	4	100.0%	0.0%
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	5	100.0%	0.0%
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	5	80.0%	20.0%
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	5	100.0%	0.0%
16	に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成	4	0	4	100.0%	0.0%
17	員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について	4	1	5	80.0%	20.0%
18	で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点	5	0	5	100.0%	0.0%
19	支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげてい	5	0	5	100.0%	0.0%
20	的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断してい	3	0	3	100.0%	0.0%
21	業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者	3	1	4	75.0%	25.0%
22	保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行ってい	4	0	4	100.0%	0.0%
23	る子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育	4	0	4	100.0%	0.0%
24	心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機	4	0	4	100.0%	0.0%

25	ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共	5	0	5	100.0%	0.0%
26	学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解	5	0	5	100.0%	0.0%
27	や児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助	4	0	4	100.0%	0.0%
28	や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があ	0	5	5	0.0%	100.0%
29	支援）協議会子ども部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加してい	1	4	5	20.0%	80.0%
30	の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を	5	0	5	100.0%	0.0%
31	の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を	0	4	4	0.0%	100.0%
32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	5	100.0%	0.0%
33	び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら	3	0	3	100.0%	0.0%
34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ必要な助言と支援を行って	5	0	5	100.0%	0.0%
35	活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援	0	5	5	0.0%	100.0%
36	対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申し入れが	5	0	5	100.0%	0.0%
37	能行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して	4	0	4	100.0%	0.0%
38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	0	5	100.0%	0.0%
39	害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	5	0	5	100.0%	0.0%
40	業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	4	0.0%	100.0%
41	アル感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに発生	5	0	5	100.0%	0.0%
42	常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	5	100.0%	0.0%
43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5	0	5	100.0%	0.0%
44	物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	4	100.0%	0.0%
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	5	100.0%	0.0%
46	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	4	100.0%	0.0%
47	うかについて、組織的に決定し子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上	4	0	4	100.0%	0.0%

コメント記入欄

- 3 ホワイトボードに登所してから降所までの流れや活動開始時刻をイラストや模型で表示
- 13 支援計画に沿って活動を立案
- 15 隔週で担当職員を変更したり運動活動から手先の活動へと変更
- 26 送迎時にこまめに情報を共有し声掛け等を相互確認
- 30 連絡帳で気になった様子が見受けられた際は直接家庭での様子を聞き取り状況を共有

- 34 送迎時やSNS等を利用し子どもの様子について話す機会を設ける。
- 43 アレルギーの把握、エピペンの使用方法やてんかん発作の対応を確認